

## 福島第一原子力発電所の20Km以遠のモニタリング結果について

平成23年3月19日13時00分現在  
文 部 科 学 省

### 1. 文部科学省が集計した結果

- \* 1 GM(ガイガー=ミューラー計測管)における値
- \* 2 電離箱における値
- \* 3 NaI(ヨウ化ナトリウム)シンチレータにおける値

場所(福島第1発電所からの距離)	測定日時	数値(マイクロシーベルト/時) (記載のない限り屋外)	天候	実施者
測定箇所 【1】 (約60Km北西)	3月19日7時03分	7.2 *2	降雨無し	文部科学省
測定箇所 【2】 (約55Km北西)	3月19日9時51分	16.0 *2	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所 【3】 (約45Km北西)	3月19日10時18分	10.0 *2	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所 【4】 (約50Km北西)	3月19日9時52分	2.7 *2	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所 【5】 (約45Km北)	3月19日10時50分	3.0 *2	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所 【5】 (約45Km北)	3月19日11時50分	3.0 *2	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所 【6】 (約45Km北)	3月19日11時10分	6.5 *2	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所 【7】 (約45Km北)	3月19日11時16分	5.0 *2	降雨無し	日本原子力研究開発機構
測定箇所 【10】 (約40Km北西)	3月19日10時07分	2.4 *2	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所 【11】 (約40Km北西)	3月19日10時25分	3.5 *2	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所 【12】 (約40Km西)	3月19日11時04分	0.7 *2	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所 【13】 (約40Km西)	3月19日11時14分	0.7 *2	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所 【14】 (約35Km西)	3月19日11時30分	0.5 *2	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所 【15】 (約35Km西)	3月19日11時46分	1.3 *2	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所 【20】 (約45Km北西)	3月19日10時50分	0.8 *2	降雨無し	原子力安全技術センター

- \* 1 GM(ガイガー=ミュラー計測管)における値
- \* 2 電離箱における値
- \* 3 NaI(ヨウ化ナトリウム)シンチレータにおける値

場所(福島第1発電所からの距離)	測定日時	数値(マイクロシーベルト/時) (記載のない限り屋外)	天候	実施者
測定箇所 【21】 (約30Km西北西)	3月19日11時12分	6.0 *2	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所 【22】 (約35Km西北西)	3月19日11時30分	1.5 *2	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所 【23】 (約35Km西北西)	3月19日11時44分	1.8 *2	降雨無し	原子力安全技術センター
測定箇所 【31】 (約30Km西北西)	3月19日9時09分	42.1 *2	降雨無し	文部科学省
測定箇所 【31】 (約30Km西北西)	3月19日10時09分	40.3 *2	降雨無し	文部科学省
測定箇所 【31】 (約30Km西北西)	3月19日11時09分	39.8 *2	降雨無し	文部科学省
測定箇所 【32】 (約30Km北西)	3月19日9時20分	135.0 *2	降雨無し	文部科学省
測定箇所 【32】 (約30Km北西)	3月19日10時20分	136.0 *2	降雨無し	文部科学省
測定箇所 【32】 (約30Km北西)	3月19日11時20分	132.0 *2	降雨無し	文部科学省
測定箇所 【33】 (約30Km北西)	3月19日9時35分	59.2 *2	降雨無し	文部科学省
測定箇所 【33】 (約30Km北西)	3月19日10時35分	55.6 *2	降雨無し	文部科学省
測定箇所 【33】 (約30Km北西)	3月19日11時35分	57.1 *2	降雨無し	文部科学省
測定箇所 【34】 (約30Km北西)	3月19日11時56分	19.8 *2	降雨無し	文部科学省

2. 防衛省の測定については準備中

# 福島第一原子力発電所周辺のモニタリング結果

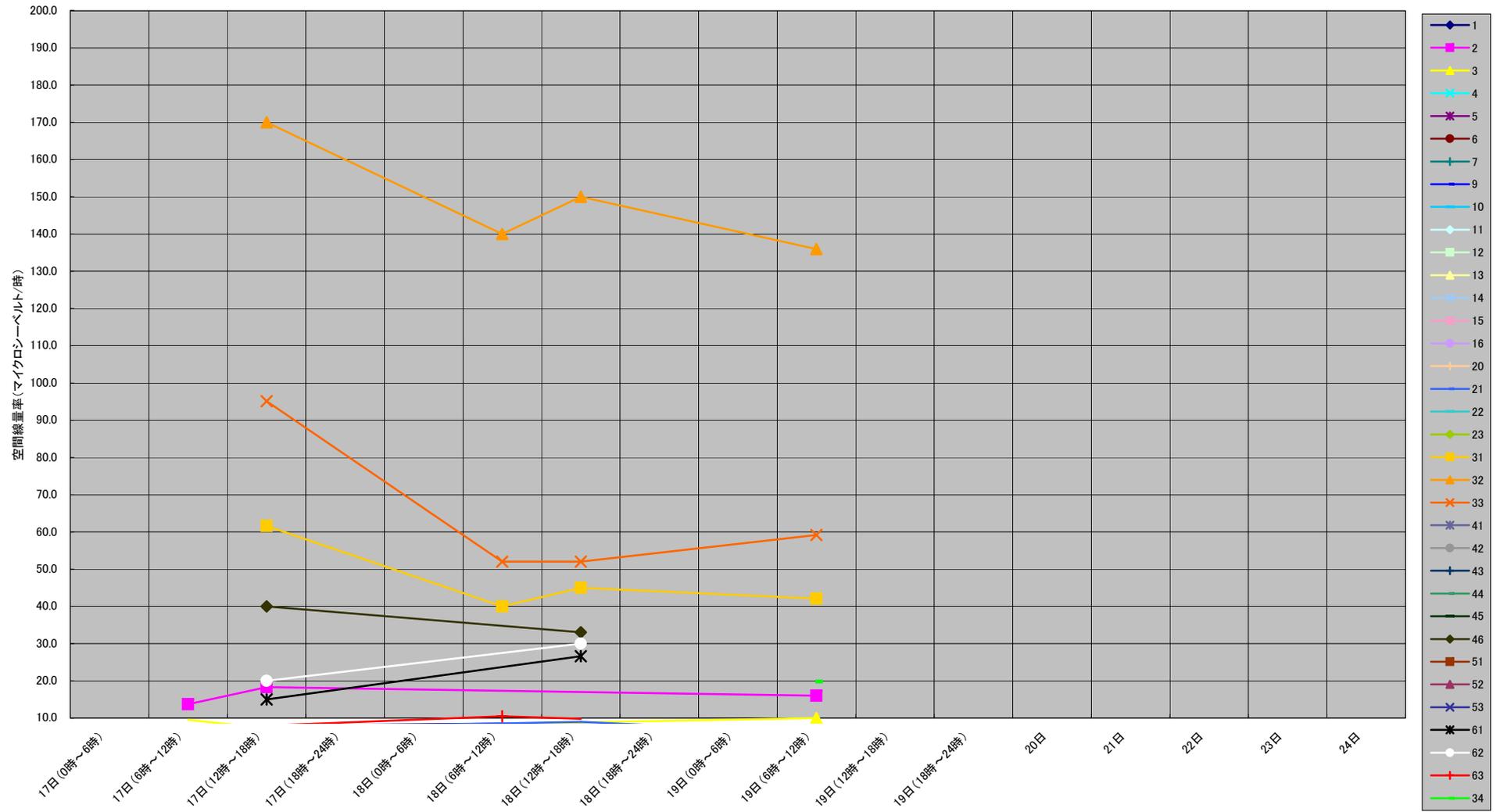


測定日時  
3月19日  
7時03分～12時00分

●測定箇所

単位:マイクロシーベルト毎時

# 福島第一原子力発電所の20Km以遠のモニタリング結果の推移



注: 測定データが区分された4時間内に複数ある場合は、最大値をプロットしている。  
 注: 本グラフでは、10マイクロシーベルト/時以上のデータのみ表示している。

## 屋内退避及び避難等に関する指標

予測線量 (単位: $\mu\text{Sv}$ )		防護対策の内容
外部被ばくによる実効線量	内部被ばくによる等価線量 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 放射性ヨウ素による小児甲状腺の等価線量</li> <li>・ ウランによる骨表面又は肺の等価線量</li> <li>・ プルトニウムによる骨表面又は肺の等価線量</li> </ul>	
10,000～ 50,000	100,000～ 500,000	住民は、自宅等の屋内へ退避すること。その際、窓等を閉め気密性に配慮すること。 ただし、施設から直接放出される中性子線又はガンマ線の放出に対しては、指示があれば、コンクリート建家に退避するか、又は避難すること。
50,000 以上	500,000 以上	住民は、指示に従いコンクリート建家の屋内に退避するか、又は避難すること。

「原子力施設等の防災対策について」(昭和 55 年 6 月 30 日原子力安全委員会決定 (最終改訂 平成 22 年 8 月 24 日)) より